

二つ目は、日本の文化とオーストラリアの文化の違いを発見することです。

三つ目は、オーストラリアの学校で友達をつくることです。

一つ目の目標では、長い英文は、言えなかったけど、ジェスチャーや、単語などで現地の人に伝えました。伝わらない時も多少あったけど、伝わった時は、うれしかったです。ホームステイ先では、英語で、子ども達と、おしゃべりしたりしながら遊んだり、食べたり、とっても楽しかったです、勉強になりました。



昼食の間に食べる食事、パティと、いっしょに食べて、話したり、パティの友達とも、しゃべりました。名前、好きな食べ物や質問をしたりされて答えたり、とても楽しく、お互いを知れました。パティと別れる時は、とてもさみしく、悲しかったです。友達ができたのに、二日間でお別れは、さびしかったです。とてもやさしくしてもらえて、楽しかったです。

グリーン島では、あまりにも、きれいな海と人なれしている魚。海水を飲むとのおどろきました。目の前を群で泳ぐ見たこともない魚に友達とおどろきました。とても楽しかったです。浜でも、徳島県にはない白い浜でビーチバレーをして、とても楽しかったです。

私は、今回のプログラムに参加して、英語がうまくつたわるか不安で心がいっぱいだったけど、意外と伝わって、あつというまの九日間でした。この体験を今後の学生生活に活かしていきたいと思えました。きちょうな体験をありがとうございました。

オーストラリア研修に参加して

日和佐中学校 大地 颯

私は初めての海外で、とてもワクワクしていたのと同時に少し不安もありました。しかし、海外に行くに優しい人が沢山居て安心することができました。例えば、8月15日のフェリーでは波が高くとても揺れていて、椅子から荷物が落ちてしまったときに、すばやく荷物を拾ってくれました。オーストラリアの方がいいです。

私は、オーストラリアに行き一番初めにホストファミリーの、ステファンの家に行きました。カルボナーラやさけ、肉団子などを食べました。牛乳も飲みましたが、日本の牛乳と比べて、甘みがありませんでした。また、ステファンと日本の遊びである折り紙をしたり、鬼ごっこや、かくれんぼをしたりしました。私は、かくれんぼや、鬼ごっこは、日本人だけしか知らないと思っていたので、驚きました。

私が一番印象に残っているのはオーストラリアの学校に行つたことです。日本の学校とは違い、おやつ時間があつたり授業ではパソコンが使われていました。私に通っている学校ではパソコンを使う機会も、あまりなく、おやつ時間は一分もありません。だから、少しうらやましく思いました。



ホームステイが終わり、水族館に行ったり、アボリジニに会ったりしました。水族館ではとてもきれいなサンゴがありました。次に、アボリジニに会いました。顔にペイントをしていたり、楽器を演奏している所を見たりしました。私も顔にペイントをしてもらい、アボリジニの文化に興味深いです。

私は、オーストラリアで今までに体験したことのない文化や習慣を学ぶことができ、本当によい経験を積むことができたと思います。そして、オーストラリアで会ったステファンと、その家族や学校の友達とまた会うことが出来ればよいと思えました。

国際理解の大切さ

日和佐中学校 吉田 心春

日本人は正しい国際理解をできているのだろうか。私は、胸を張って「できている」とは答えられないと思う。しかし、私達学生は正しい国際知識、国際理解を深めていけるのではないだろうか。

私がケアンズに行つて一番印象に残った事は、「違う国の人でもすごく優しく迎えてくれる。」というものだった。たくさん話しかけてくれたり、なにより日本の事に興味をたくさん持つてくれたりしたのだ。これは、違う文化を認めてくれている、という事だと思う。ホームステイ先の家で文化が違く、困る事が多いかも、と思つたがホストファミリーはすんなり受け入れてくれたのだ。

「外国人トラブル」などの言葉やテレビで耳にしたことがある。このトラブルは日本に

